

当院の訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションとは、在宅での生活動作において不安がある方やリハビリを受けたいけど通うことが難しい方などに対して、医師の指示に基づき利用者さまの実際の生活の場に理学療法士・作業療法士のリハビリスタッフが伺いして、日常生活の自立と家庭内さらには社会参加の拡大を図り、利用者さまの生活を支援するサービスです。

訪問リハビリの内容・目的は、心身機能の維持改善、身辺処理能力向上、家事動作等の家庭内役割の再獲得、社会参加に向けてなど多岐にわたります。在宅生活の中で利用者さまの心身機能維持・改善を図りつつ、通い系サービスでは十分に行うことが難しい実際の生活場面に即した能力的な部分へのアプローチを行うことを得意としており、安心・安全にその人らしい在宅生活を継続できるように支援します。

訪問リハビリの役割としては、ひとつめに退院または退所直後での介入があります。退院(退所)することになったけど家での生活が安全にできるだろうか、病院で習ったように介助ができるだろうかなどの在宅での生活に対して不安を持つ方は多いと思います。入院中に毎日行っていたリハビリが退院後は頻度・時間ともに少なくなり、場合によってはリハビリ自体を受ける機会がなくなることもあります。退院直後より訪問リハビリが介入することにより、徐々にリハビリの頻度・量の調整を行い、入院中にしておられたことがお家でも継続してできるように一緒に動作練習・指導また環境の再調整を行います。そして安全で安心できる生活を確保してからデイサービスや通所リハビリなどのサービスへ移行を目指します。

ふたつめは、在宅生活においての廃用による能力低下への介入です。デイサービスや通所リハビリなどのサービスを利用しているにもかかわらず加齢や体調の変化により今までできていた動作が行いにくくなり、介助を必要とするようになることがあります。そこで現在利用されているサービスに加えて訪問リハビリが介入することにより、短期的に集中したリハビリを実施、ご自

宅環境の再調整や現在の状態に合わせた動作方法・介助指導を行うことで再び活動的な生活が送れるように支援することができます。

現在、当院訪問リハビリには理学療法士 6 名・作業療法士 3 名が入院業務と兼務で働いています。当院を利用されたことのある方はもちろん、大津市圏域内に住まわれる方であれば訪問リハビリサービスを利用することができます(利用状況により一部地域相談)。医師の指示のもと、介護支援専門員や福祉用具スタッフなど多職種との質の高い協働による最適な医療の追求をおこない、充実した在宅支援サービスの提供を目指しています。

利用者さまの状態や能力、環境に合わせたサービスを行うことで、住み慣れた(これから生活される)地域の中で豊かな生活を送っていただけるように支援いたします。

リハビリ療法部 訪問リハビリ 上田 健



いきいき健康教室

今年も「いきいき健康教室」を開催いたします。今回は塩貝敏之先生をお招きし、脳卒中に関してご講演いただきます。

当日は皆様にささやかではありますがお茶とケーキをご用意いたしました。

クリスマスを当院で一緒にお祝いしませんか。

日時 12月14日(水) 13:30~15:30

会場 琵琶湖中央病院 D棟 5階地域研修センター



プログラム 1

講演「脳卒中ばくめつを目指して」塩貝敏之先生

プログラム 2

ささやかに、お茶とケーキでクリスマスパーティー

《お問い合わせ》 琵琶湖中央病院 地域連携部

☎ 077-562-2144